

知財金融フォーラムin広島を開催

～金融機関に対する知財金融の啓発に貢献～

金融機関に知財金融の取組を啓発したい中国経済産業局の要請に応じて共催。事業性評価や本業支援等への知財活用を促すため、中国財務局は、金融機関への開催案内および基調報告を実施。

概要

【中国経済産業局との共催の経緯】

- ◇知的財産を有する中小企業の支援に地域金融機関の理解は欠かせない。
- ◇知財に着目した融資商品を販売する金融機関がある一方、知識やノウハウが不足しているとの声もあった。
- ◇事業性評価を推進する中国財務局に協力要請があった。
- ◇知財を切り口とした事業性評価等により、金融仲介機能の更なる発揮が期待できることから要請を受け入れ。

【フォーラム】

知財を切り口とした事業性評価で地域企業を元気に！

- ◇基調講演・基調報告
- ◇事例紹介
- ◇パネルディスカッション



取組の成果と今後の展開

【期待された成果の実現】

- ◇アンケートによれば、参加者の46.8%が当局からの個別紹介により知ったとしており、また、参加者の66.6%が「金融機関」であり、金融機関の集客に一定の効果があった。
- ◇今後の業務の活用として、とても役に立った、やや役に立ったと回答した割合が97.9%であった。

【今後の展開】

- ◇「お客様との会話の切り口として知財が使えると分かった」などのコメントが多数寄せられ、事業性評価や本業支援等において知財活用の拡大が期待される。

【コメント】

- ・金融機関における知財活用の好例がよく理解できた。
- ・知財を切り口とした事業性評価は、金融機関が抱える課題であると同時にお客様の課題、ニーズ解決に役立つと思う。
- ・より深く事業性評価に取り組むうえで、知財への取組は避けては通れない。
- ・事業性評価の中で、新たな取組をしたい。